

第16回 化粧品包装セミナー

—メイドインジャパンによる日本再生—

日程：平成25年8月30日(金) 13:00 ~ 16:50

会場：スペースFS汐留

主催：公益社団法人日本包装技術協会

ご参加の勧め

本セミナーも16回目を迎えました。今回のセミナーのサブテーマは、“Made in Japan”と銘打って開催します。今こそ日本の技術を見直し再構築し、世界に通じる“Made in Japan”を目指しましょう。

本物の日本の包装技術の世界へ!そのための技術開発の一助にいただければ幸いです。

どうぞ本セミナーへの数多くの関係各位のご参加をお待ちしております。

企画委員一同

プログラム

時間	講演内容	講師
13:00 ▼ 14:10	<p>『メーキャップ化粧品容器の注意点(容器と中味のマッチング含む)』</p> <p>メーキャップ化粧品は意匠や使いやすさなど、容器デザインや機能が直接販売に影響を及ぼすことが多く、特に設計開始時には過去のトラブル事例等を踏まえ、事前検証を行うことが大切です。 設計開始時に必要な素材選択や設計・加飾などの注意点を耐中味や意匠性の観点から、形態別に解説する。</p> <p>●容器形態別設計の注意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コンパクト ②繰り出し容器 ③塗布具付き容器 	<p>株式会社トキワ グローバルテクノロジーセンター 主席研究員</p> <p>井上 隆 氏</p>
14:20 ▼ 15:30	<p>『化粧品容器の加飾技術について』</p> <p>容器加飾技術として取り組んでいる転写を中心とした「レイヤー技術」について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●成形品への様々な加飾工法とその分類 ●3D曲面を持った成形品への加飾工法とその特徴 ●フィルムに印刷された加飾・機能を成形と同時に成形品上に付与する方法 <p>化粧品容器への加飾としてどのように関わり発展してきたのか。今後の可能性を含めて提案させていただきます。また、新しい取り組みとして「デザイン提案」「マテリアルとの関わり」についてもご紹介いたします。</p>	<p>日本写真印刷株式会社 取締役執行役員 産業資材事業部 副事業部長 生産技術本部長</p> <p>藤井 憲太郎 氏</p> <p>(デザイン提案、マテリアルについて) 日本写真印刷株式会社 株式会社M crossing</p> <p>吉川 久美子 氏</p>
15:40 ▼ 16:50	<p>『化粧品パッケージの消費者効果 ~これからの時代に問われるパッケージのコミュニケーション力~』</p> <p>化粧品のみならず日本の消費財市場は成熟し、商品はコモディティー化している。ネット社会の発展と共にコミュニケーション・メディアも複雑化している。</p> <p>このような状況において、消費者の興味を高め、需要を喚起するためには、新カテゴリー創造が重要であるととともに、複雑化するメディア環境の中で注目すべきなのは、コミュニケーション媒体としての商品パッケージそのものと考えます。</p> <p>新カテゴリー商品を効果的に印象付け、試用や口コミ意向を高めるパッケージングの手法としてイメージ・モチーフを活用した「感性記憶型パッケージング」が挙げられる。これは化粧品だけでなく、一般的にも採られている手法であるが、最近の研究により、そのコミュニケーション効果が実証されつつある。</p> <p>本講演ではその概況について解説する。</p>	<p>株式会社資生堂 ブランド企画部 課長</p> <p>宮本 文幸 氏</p>

化粧品包装セミナー企画委員 *本催しは各企業から代表された企画委員によりプログラムを編成しております

主査	住瀬 雅広 氏	株式会社DSC	代表取締役社長
	大谷 憲一 氏	花王株式会社	包装容器開発研究所 室長
	直井 正宏 氏	株式会社コーセー	商品デザイン部 設計課 主任専門職
	木本 喜久 氏	株式会社資生堂	化粧品開発センター 外装開発グループ 副主幹研究員
	鈴木 智晴 氏	ポーラ化成工業株式会社	営業部 開発企画グループ クリエイティブディレクター

講師のご紹介

井上 隆氏

株式会社トキワ グローバルテクノロジーセンター
主席研究員

【ご略歴】

1971年 ㈱資生堂 鎌倉工場入社
1975年 同社 技術部 外装技術・品質保証
1999年 ㈱資生堂本社 購買部(材料購買)
2002年 生産技術開発センター
2005年 宣伝制作部(パッケージプロデュース)
2009年 ㈱資生堂退社
2010年 ㈱トキワ入社
グローバルテクノロジーセンター 新規外装設計及び開発を担当

藤井 憲太郎氏

日本写真印刷株式会社 取締役執行役員
産業資材事業部 副事業部長/生産技術本部長

【ご略歴】

2003年 ナイテック工業㈱* 工場長
2008年 執行役員 産業資材事業本部 生産技術本部長
(*ナイテック工業㈱=日本写真印刷㈱の製造部門の会社名)

宮本 文幸氏

株式会社資生堂 ブランド企画部 課長

【ご略歴】

1985年 筑波大学卒業 同年(株)資生堂入社
情報システム部、経営企画部、マーケティング部門(コスメティックス、コスメティィ、医薬品事業部の商品開発)、中国事業部(事業戦略)、その後現部門
〔有資格〕愛知大学国際問題研究所 客員教授、流通問題研究協会リサーチ・アドバイザー、経営行動科学学会・日本消費者行動研究学会学術会員

講演要領

日時:平成25年8月30日(金) 13:00 ~ 16:50

会場:「スペースFS汐留」

東京都港区東新橋1-1-16 汐留FSビル3F

参加費:会員13,650円(消費税・テキスト代含む)

一般18,900円(消費税・テキスト代含む)

定員:120名

講演要領

■本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

協会ホームページからお申込できます。

*協会ホームページ: <http://www.jpi.or.jp>にてホームページを検索し、各種・催事から「第16回化粧品包装セミナー」を開いて下さい。ページ末の申込みフォームに必要事項をご記入して送信下さい。

■申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。

■当日、ご都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えありません。

(受付にて名刺をご提出いただきます)

お問合せ並びに申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第16回化粧品包装セミナー」の事業実施に関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

会場案内図

■会場:「スペースFS汐留」
東京都港区東新橋1-1-16 汐留FSビル3F

■アクセス:「JR新橋駅 汐留口 徒歩3分」
地下鉄 東京メトロ銀座線 新橋駅 2番出口 徒歩3分
都営浅草線 新橋駅 汐留1番出口 徒歩1分
都営大江戸線 汐留駅 徒歩4分
ゆりかもめ 新橋駅 徒歩1分



*ホール入り口は、建物正面右側の専用階段を上って下さい

第16回化粧品包装セミナー(8月30日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内 FAX.03(3543)8970 No

会社名	JPI会員 ・ 一般 (どちらかに○を付けて下さい)				
所在地	(〒)				
電話			FAX		
参加者名	氏名	所属役職	e-mail		
	氏名	所属役職	e-mail		
	氏名	所属役職	e-mail		